

阿倍野駅(地下鉄谷町線)②

阿倍野から寺西家阿倍野長屋へ

阿倍野駅(阪堺電車上町線) 昭和町駅(地下鉄御堂筋線) 文の里駅(地下鉄谷町線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.037



地下鉄阿倍野駅

① 阿倍寺跡推定地

谷町線阿倍野駅から東へ300メートルほど入ったところに松長神社の小さな祠がありますが、ここが古代の阿倍氏の氏寺・阿倍寺跡と推定されています。近くの阿倍野区民センターには阿倍寺跡の出土品や阿倍野筋遺跡から発掘された漁具などが展示されています。古墳時代、このあたりは海に近い集落がありました。

② 庚申街道

十干の庚と十二支の申とが重なる庚申の日には身を慎んで夜も眠らないという庚申信仰が民間に根強くありました。四天王寺の庚申堂に向かう参詣道を庚申街道といいます。四天王寺南大門から平野へ向かっていますが、何本かの異なったルートがあります。

③ 南大阪教会

昭和3年(1928)に大阪基督教会創立50周年記念事業のひとつとして建てられ、若き建築家・村野藤吾の処女作です。村野の設計には、かつての心齋橋そごう百貨店や大阪新歌舞伎座があります。南大阪教会の新会堂も村野の最晩年作で、ここに最初と最後の作品が奇しくも並んでいます。

④ 阪田寛夫詩碑

阪田は現在の阿倍野区松崎町に生まれた詩人・小説家・児童文学者で、熱心なキリスト教徒の家に生まれ、小説『土の器』で芥川賞を受賞。童謡「サッチャ

ん」「おなかのへるうた」などの作詞者としても知られています。



⑤ 寺西家住宅と土蔵

住宅は大正15年(1926)、土蔵は昭和10年(1935)の建築です。玄関横に洋館のある和風建築で、戦前のおお阪の都市景観美を伝える好例です。庭に灯籠があり、川の流れが演出されています。国の登録有形文化財です。

⑥ 寺西家阿倍野長屋

昭和7年(1932)に建築された寺西家長屋は、平成15年(2003)長屋として全国初の国の有形登録文化財になりました。都市ガスのガス風呂が設置されるなど、近代化を先取りした長屋です。一時はマンションに建て替えるという計画も出ていましたが、関係者の努力で長屋が修復され保存されることになりました。



地下鉄昭和町駅

